



交通安全マップ完成

松山・石井東小で贈呈式

松山市立石井東小の5年生が作っていた「交通安全マップ」が完成した。15日に印刷された地図1400部が市から同小に贈られた。全児童や地域住民に配って役立てるといふ。

地図は、5年生約150人が危険な場所を選び、写真を撮るなどして作った。36の危険箇所の場所が示され、写真とともに「見通しがとても悪い」など危険の内容が書き込まれている。代表で速藤義武副市長から地図を受け取った大西凌君と湯上菜穂子さんは「地図を生かして普段から気をつけたい」などと決意を発表した。

市が今年度、子どもたちに地図作りを通して通学路などの危険箇所を知ってもらおうと、同小をモデル校に指定。新年度は残る市立小54校に取り組みを広げる予定。

するとも考えている」と期待を込めた。

中村時広知事は「守るべきものは守り、国益を最大限追求する」といった姿勢で

交渉に臨むとともに、すべての交渉分野における具体的な影響や交渉過程の情報開示を行っていただきたい」との談話を出した。

川遊び死亡事故 園児両親が告訴

西条・幼稚園教諭ら

西条市の加茂川で昨年7月、川遊び中だった「西条聖マリア幼稚園」の園児と職員が流され、園児1人が死亡した事故で、亡くなった園児の両親が15日、引率

した教諭や当時の理事長ら計9人を業務上過失致死の疑いで西条署に告訴した。署は同容疑で調べている。

事故は昨年7月20日午後3時40分ごろ発生し、吉川慎之介ちゃん(当時5)と同市神拝IIが死亡した。告訴した父豊さん(43)と母優子さん(42)の代理人の弁護士によると、教諭らは天候

の変化による急な増水を選定できたのに、浮輪などを用意せず川で遊ばせ、事故が起きた際もロープやホイッスルを持っておらず、迅速な救助活動を怠ったと主張。学校保健安全法で義務づけられている「学校安全計画」を作成していなかったと指摘した。

両親は弁護士を通し「事件後の対応についても、不誠実さあまりなく、正式な

謝罪なきままに現在に至ります。一日でも早い事件解明が行われることを希望します」とのコメントを出した。同園は「事故についてお話しすることはないとしている。

ニュース短信

◆現金盗んだ東温市消防署員を停職3カ月 職場で現金を盗んだとして、東温市は15日、市消防署消防係の男性主事(20)を停職3カ月の懲戒処分とし、発表した。すでに全額返済しているため、刑事告訴はしない方針。市消防本部によると、主事は昨年9月、今年2月、勤務明けの交代時間に仮眠室に忍び込み、署員4人の財布から延べ8回、現金計7万円を盗んだという。仮眠室で現金がなくなることが話

潮	17日・中潮	山
東	予	松
満潮	1.59	0.09
	13.47	11.55
干潮	7.56	6.02
	20.11	18.14
	今	治
	1.48	9.54
満潮	13.29	22.59
	7.39	4.00
干潮	19.53	16.24



マイ
ジオ
35から
みなさん